

マリンビジョンNewsは、サロマ湖地域の1市2町で構成するマリンビジョン協議会が、自然環境と共生した明るい未来を創造する漁村づくりに向けた活動を紹介する広報紙です。

お帰りなさい！

10月11日、(社)北見管内さけ・ます増殖事業協会の湧別5号線ふ化場を湧別小学校2年生児童24名が訪れ、総合学習の一環としてシロザケの受精作業を学びました。畜養池から大きなタモ網が引き上げられ、サケが飛び跳ねる様子を目の当たりにして「お帰りなさい」と大きな声をかけていました。その後、採卵舎でメスの腹を割いて取り出した卵にオスの腹から精子を絞って混ぜ、真水に浸けるまで一連の作業を見学し、新しい命が誕生するまでの過程を体験しました。子ども達が職員に質問する熱心な姿も見られました。



出前講座で学ぶ



8月9日、友好都市の交流キャンプ事業で湧別町を訪れていた新篠津村の小学生と町内の小学生が、網走開発建設部の出前講座を利用してサロマ湖の養殖漁業を学びました。登栄床漁港内で湧別漁業協同組合職員からホタテの養殖作業について話を聞いた後、網走港監督測量船「はまなす」に乗船して網走港湾事務所職員からサロマ湖漁港とアイスブームについて説明を受けました。参加した小学生らは、養殖施設を守るアイスブームの役割に興味津々で聞き入っていました。

豊穣の秋



10月2日、佐呂間町のトーヨータイヤテストコースで第16回サロマ大収穫祭が行われました。ホタテや秋アジをはじめとした特産品を特価で購入できるとあって、販売開始前から長蛇の列が何本もできていました。また、海や山の



食材を提供する店も多く、来場者は思い思いに秋の味覚を堪能していました。ステージでは、ミュージシャンによるライブショーや人気キャラクターショー、お楽しみ抽選会などが行われ、時折小雨が降るにも拘らず大盛況となりました。なお、当協議会ではサロマ湖地域マリンビジョンのパネルを設置してPRに努めました。

地産地消

9月3日、北見地産地消フェスタ2011が、北見市駅南多目的広場で開催されました。このイベントは、「新鮮でおいしい地元食材を多くの人に味わってほしい。」との熱意から、漁協や農協、消費者団体などで組織する北見市地産地消推進委員会が昨年から開いているもので、飲食ブースではご当地グルメのオホーツク塩焼きそばや目の前で焼かれるホタテの貝焼きが飛ぶように売れ、直販ブースでは地元産野菜のほか常呂産貝付きホタテや毛ガニを求める市民らが詰めかけ、会場は時折強い雨に見舞われたもののたくさんの来場者で賑わいました。



イベント情報

10月15～30日：北見菊まつり(北見市)

11月6日：秋のサロマ湖まつり(北見市)

11月23日：牡蠣まつり(湧別町)

12月11日：ところ物産まつり(北見市常呂町)

発行 サロマ湖地域マリンビジョン協議会
編集 サロマ湖地域マリンビジョン協議会事務局広報担当
〒099-6404 湧別町栄町112番地の1
湧別町総合支所産業振興課水産係
Tel 01586-5-3763 ・Fax 01586-5-2283
Mail sangyo@town.yubetsu.lg.jp

2011.10.15

